

基本目標4 一人ひとりが学び、高め合うまち

- ◇ 市民主体の学びやスポーツの活動を維持・発展させることを目指します。
- ◇ 人生 100 年時代を文化的で豊かに自分らしく生きることのできるまちを目指します。
- ◇ 地域の歴史・文化を学び地域に愛着を持ち、次の世代へ受け継がれるまちを目指します。

【3つのチャレンジ】

継承	<ul style="list-style-type: none"> ● 公民分館等の活動を通じて地域の文化等を学び継承していく人材の育成 ● 地域の宝(ほんものの誇り)を守り、須坂らしさを継承
進化	<ul style="list-style-type: none"> ● ICTをはじめ、自由な発想でより参加しやすい学習の機会の提供 ● 市民が主体的に取り組める場としての新しい公民館のあり方の検討 ● 官民連携による「まるごと博物館」構想の具現化
学びと行動	<ul style="list-style-type: none"> ● 学んだ者同士の連携と活動の拡大 ● 須坂市の文化・芸術の学びと継承、発展

基本施策6 主体的に学び合うまちづくり

施策12 多様な生涯学習の推進

◆施策の目指す姿

- 生涯にわたって学びたいときに学べる機会と場所があり、市民同士が互いを高めあえるまちを目指します。

【成果指標】

指標の種類	指標名	現状値(年度)	目標値(2025年)
市民意識指標	「生涯学習の機会充実」の満足度(%)	34.2(2019)	40.0

◆現状と課題

- 人生 100 年時代において一人ひとりが自分らしく生きがいを持ちながら暮らすため、学び直しや生涯学習は今後重要性が増していくと考えられますが、市民総合意識調査の結果では満足度は低くないものの、重要度はあまり高く評価されていません。
- 公民館等の利用者が減少傾向にあります。利用する年齢層が高齢化し、かつ固定化してきていることも要因の一つと考えられます。

◆施策の取組方針

- 時代やニーズを的確にとらえた生涯学習機会の充実を図ります。
- 市民の学びを支援し、「自ら学ぶ」意識の向上を図ります。
- 行政による積極的な地域公民館の活用をすすめます。

◆主な取組内容

生涯学習推進課

取組項目	具体的な内容
学習機会の拡大と充実	<ul style="list-style-type: none"> ◇ ニーズを的確にとらえた魅力ある講座の実施 ◇ 生涯学習推進リーダーの育成 ◇ 他部署との連携強化・アンケートの実施、地域住民との対話による情報収集 ◇ 「生涯学習まちづくり庁内推進委員会」の活用 ◇ 生涯学習ポータルサイトの充実による関連情報の一覧性の向上と情報発信強化
学習の成果を発表する場の提供	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 活動の励みとして、公民館等の利用団体、講座修了者等への積極的な働きかけと機会の提供 ◇ 展示スペース等のPR ◇ 学んだことを実践に生かしていく活動の支援

【プロセス指標】

指標名	現状値(年度)	目標値(2025年)
生涯学習センター・地域公民館等の延べ利用者数(人)	156,437(2019)	180,000
出前講座の延受講者数(人)	5,990(2019)	8,000

◆共創のまちづくりに向けた各主体の役割

主体	期待される役割
市民	学びたいこと、必要なことを積極的に学びます
企業	多様な学習メニューを提供します
活動団体	活動内容の発信と団体の活性化を図ります

基本施策7 文化・芸術・スポーツ活動に熱心なまちづくり

施策13 文化・芸術・交流活動の推進と継承

◆施策の目指す姿

- ▶ 地域の歴史・文化や芸術を市民が学び、親しみ、活躍するまちを目指します。

【成果指標】

指標の種類	指標名	現状値(年度)	目標値(2025年)
市民意識指標	「生涯学習・文化芸術・歴史を大切にしたまちづくりの推進」の満足度(%)	33.9(2019)	50.0
市民取組指標	「生涯学習・文化芸術に親しみ、地域のみなさんと一緒に活動に取り組んでいる」人の割合(%)	18.4(2019)	30.0
市民取組指標	「地域の伝統行事に参加するなど、文化の継承に取り組んでいる」人の割合(%)	20.6(2019)	30.0

◆現状と課題

- ▶ 機能分散型総合博物館実現のため、図書館、博物館、文書館の機能との連携や、市内に点在する文化財を結び付け、機能分散型総合博物館をどのように機能させるか検討していく必要があります。
- ▶ 文化芸術振興ビジョンとまるごと博物館構想の融合を図っていく必要があります。

◆施策の取組方針

- ▶ 文化芸術振興ビジョンを融合させながら、機能分散型総合博物館、他の文化施設、観光施設などとの機能連携を図り、まるごと博物館構想を推進します。

◆主な取組内容

(1) 歴史、文化芸術を大切にしたまちづくり

文化スポーツ課

取組項目	具体的な内容
全市をフィールドとした取組みの展開	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 歴史的、文化的資源を、学ぶことにより更なる文化を育て、文化が人を育てるという循環により「まちとしての価値を高める「まるごと博物館構想」を推進 ◇ 文化芸術振興を「ひとづくり」「まちづくり」の核としてとらえ、「市民力・産業力の創造」をめざす「文化芸術振興ビジョン」の推進
文化財保存・活用の推進	<ul style="list-style-type: none"> ◇ デジタルアーカイブ「信州須坂のおたから」の充実・情報共有の強化 ◇ 郷土史資料の収集・活用と郷土史研究家の育成 ◇ 重要伝統的建造物群選定を目指し、歴史的町並みを活かしたまちづくりの推進
文化芸術活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> ◇ 様々な文化・芸術に接する機会の充実 ◇ 文化・芸術活動団体及び伝統芸能保存団体の支援

【プロセス指標】

指標名	現状値(年度)	目標値 (2025年)
機能分散型総合博物館入館者数(人)	32,584(2019)	50,000
メセナホール入館者数(人)	81,170(2019)	90,000

◆共創のまちづくりに向けた各主体の役割

主体	期待される役割
市民	子どもの頃から文化・芸術に親しみ(観覧も含め)、文化・芸術に生涯関わります
企業	文化・芸術活動を経済的に支援します(広告、協賛金等)
活動団体	主体的に活動に取り組みます

施策14 スポーツ活動の充実

◆施策の目指す姿

- ▶ スポーツを通じ、健康で生き生きと学び挑戦する心を育み、地域の連帯感や活力が醸成されるまちを目指します。

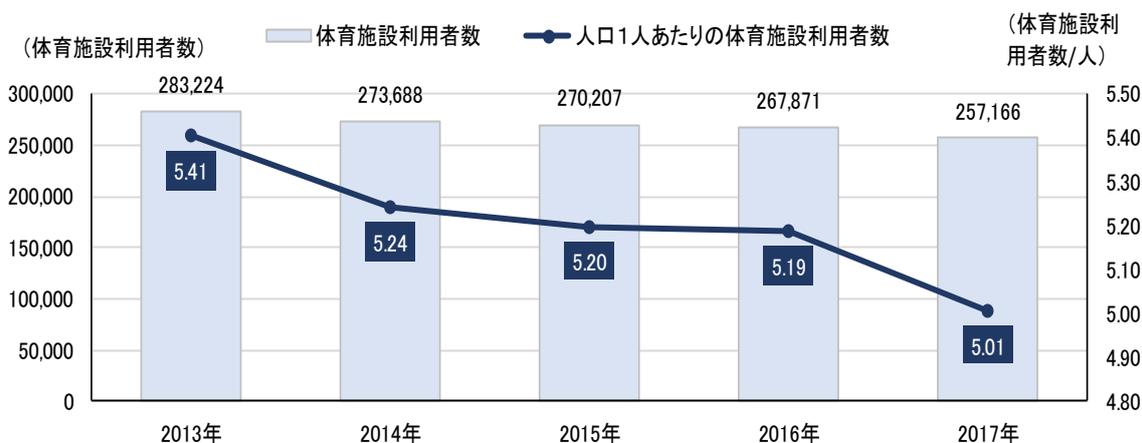
【成果指標】

指標の種類	指標名	現状値(年度)	目標値(2025年)
市民取組指標	「日頃スポーツをする・観る・関わっている」人の割合(%)	—	40

◆現状と課題

- ▶ スポーツ団体の会員の減少や体育施設の利用者数の減少などにみられるように、スポーツに親しむ人が減少傾向にあります。
- ▶ 施設の老朽化に伴う維持管理費等の財源の確保が必要です。

体育施設利用者数



◆施策の取組方針

- ▶ ライフステージに応じたスポーツ活動及び健康と絆づくりのため、ニュースポーツの普及を行います。
- ▶ プロスポーツクラブとの連携を強化し、広報することにより、スポーツ観戦やスポーツ活動のきっかけづくりを行います。
- ▶ 子どものころからスポーツに親しむ環境を充実させます。

◆主な取組内容

文化スポーツ課

取組項目	具体的な内容
スポーツ事業の充実	◇ 子どもの頃からのスポーツの習慣化への取組みとそのためのスポーツ機会の提供 ◇ 年齢・体力・目的・ライフステージ等に応じたスポーツ活動の推進
指導者の育成	◇ スポーツ推進委員の活動支援 ◇ スポーツ団体加盟者及びスポーツ推進委員を中心した人材の育成
スポーツ団体等の活動支援	◇ スポーツ協会に加盟する各種競技団体の活動支援と各種スポーツ大会の開催支援
スポーツ施設の充実と維持管理	◇ 社会体育施設の維持管理 ◇ 緊急性の高い施設の改修 ◇ 施設の有効利用の促進
学校体育施設の有効利用	◇ 学校体育館やグラウンドの共同利用の促進と利用者の責任・負担の周知徹底

【プロセス指標】

指標名	現状値(年度)	目標値(2025年)
スポーツ協会構成人数(人)	4,172(2019)	4,200
子ども向けスポーツ教室の参加人数(人)	1,356(2019)	1,400
市民一人あたりのスポーツ施設利用回数(回)	5.49(2019)	6.0

◆共創のまちづくりに向けた各主体の役割

主体	期待される役割
市民	子どもの頃からスポーツに親しみ、生涯スポーツに関わります
企業	文化・芸術活動を経済的に支援します(広告、協賛金等)
活動団体	主体的に活動に取り組みます